むつざわ

議会だより

第133号
平成24年8月15日発行

市原町政スタート

こんなことが決まりました …… 2～4
専決処分・条例改正・発議案
一般質問 …… 5～10
常任委員会報告・先進地視察 …… 11
町の歴史・文化財紹介 …… 12
（睦沢町指定無形民俗文化財「大上五囃子」）

青少年サマーキャンプ（富士川）

6月定例会

こんなことが決まりました

平成24年第2回議会定例会は、6月15日に開催されました。御園生正美町長退職による追加日程1件、専決処分の承認4件、議案3件を審議し原案どおり可決しました。陳情2件を採択、7議員が一般質問を行い、町政の課題を問いました。

条例の制定・一部改正など

（追加日程第1）

御園生町長の退職に同意

御園生町長の退職の申し出に同意しました。

（承認第1号）

睦沢町テレビ難視聴対策施設の設置及び管理に関する条例の専決処分

睦沢町地デジ難視聴対策の無線共聴施設の位置づけ及び維持管理等について町が責任を持って行うことを定めたものです。

質　疑

市原重光議員　維持補修及び点検は4月1日施行だが、これまで維持補修等はあったのか。

企画財政担当主幹　現在、維持補修関係は発生しておりません。

市原時夫議員　引き続き町負担を軽減するよう努力していただきたい。文言上の問題だが第4条で難視聴地域に対し再送信するとあるが、受信し、再送信するというのが正しいのではないか。

総務課長　第4条は業務のことをいっています。施設のことではないということでご了解下さい。

荻野新衛議員　町内で難視聴の家庭は無くなったのか。

企画財政担当主幹　BSからUHFアンテナに移行期間中です。ギャップフィラーからの電波がとれにくい世帯がいくつかありますので対策を講じています。

議員　具体的な対策は。

企画財政担当主幹　現在、業者と詰めていますが、詳細は決定しておりません。

議員　その中で責任を持って対応するということか。

企画財政担当主幹　そのようなことでご理解いただきたいと思います。

BSアンテナと地デジ用アンテナ

荻野新衛議員が自治功労表彰

このほど荻野新衛議員が、議員在職27年以上の自治功労表彰を全国町村議長会から受けました。

荻野新衛議員

（承認第2号）

平成24年度睦沢町一般会計補正予算（第1号）の専決処分

食品中の放射性物質含有量の基準が、より厳しくなったため、食の安全確保、生産者及び消費者の安心のための検査に使用する測定器購入の為の専決処分です。

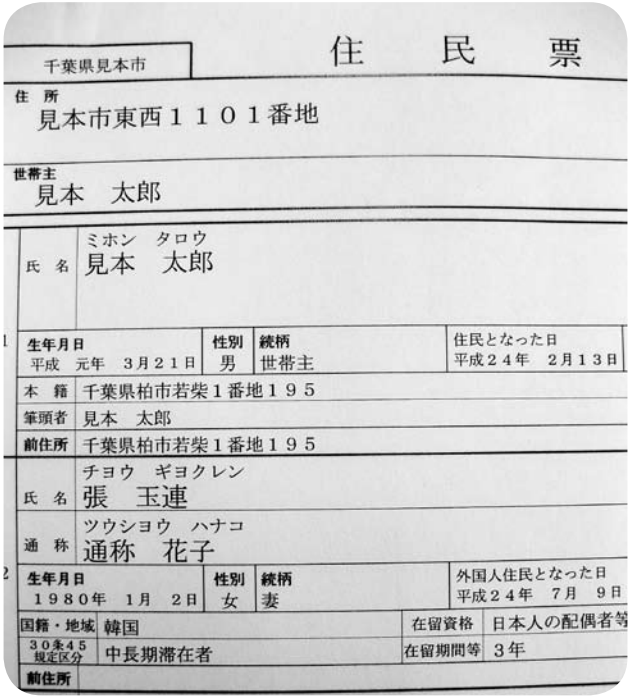
質疑

市原時夫議員　購入備品はどのように使うのか。

地域振興課長　ほとんどの物が検査可能であり、対象者は町内在住の方で無料です。ただし、町内の生産販売者、学校関係を優先させていただきますので事前予約で対応していきます。また、あくまで簡易検査器です。

荻野新衛議員　専決処分の乱用ではないのか。慎重にやるべきでは。

総務課長　3月定例会のこともありまして、緊急性のある問題だろうと当時の町長の判断で決めました。今後、運用については十分注意をいたします。



千葉県見本市　住民票

住所　見本市東西１１０１番地

世帯主　見本　太郎

氏名	ミホン　タロウ 見本　太郎			
生年月日 平成　元年　3月21日	性別 男	続柄 世帯主	住民となった日 平成24年　2月13日	
本籍	千葉県柏市若柴１番地１９５			
筆頭者	見本　太郎			
前住所	千葉県柏市若柴１番地１９５			
氏名	チヨウ　ギヨクレン 張　玉連			
通称	ツウショウ　ハナコ 通称　花子			
生年月日 1980年　1月　2日	性別 女	続柄 妻	外国人住民となった日 平成24年　7月　9日	
国籍・地域	韓国		在留資格	日本人の配偶者等
30条45規定区分	中長期滞在者		在留期間等	3年
前住所				

外国人の住民基本台帳記載例

（承認第3号）

睦沢町税条例の専決処分の承認を求めることについて

地方税法の一部改正に伴い睦沢町税条例の一部を改正するものです。

質疑

市原時夫議員　東日本大震災に係わる被災住宅用財産についてのメリットは。

税務住民課長　被災者の負担軽減を図るものです。所得割の譲与所得に軽減措置がとられます。それを3年から7年まで延長するものです。

（承認第4号）

睦沢町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

東日本大震災に係わる被災居住用財産の敷地の譲渡期限延長による改正です。

町が購入した食品放射能測定器

提出の決まった意見書

（発議案第1号）

「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する陳情書

（発議案第2号）

「国における平成25年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する陳情書

以上の2件を採択し、関係機関に提出しました。

（議案第1号）

睦沢町東日本大震災復興基金条例

千葉県東日本復興基金の交付金2千万円の交付を受け10年間で震災からの復興に向け、新たにソフト事業を行うものです。

質　疑

市原重光議員　使い道は。

総務課長　今後、防災組織などを通して検討します。

市原時夫議員　本町では震災復興が必要なのか。

企画財政担当主幹　今後の防災関連にも使えます。

（議案第2号）

睦沢町手数料改正条例

外国人登録証明が廃止となり、日本人と同様に住民基本台帳の適用となるためのものです。

質　疑

市原時夫議員　強制的なものか。

税務住民課長　強制ではありませんが、手続きをとらないと日本にいられなくなり例外を除き、日本にいる外国人すべてをこの制度で見ていくことになります。

津波も視野に入れることを迫られている瑞沢川

（議案第3号）

平成24年度睦沢町一般会計補正予算（第2号）

681万5千円を追加し、歳入・歳出をそれぞれ、28億6千17万9千円とするものです。

歳入はふるさと創生基金から、43万3千円の追加、繰越金638万2千円の追加です。

歳出は、マスコットキャラクターうめ丸くんと長生もみ太郎の着ぐるみの商標登録費用52万2千円、総合交付金の追加43万3千円、広域ごみ処理時に発生する飛灰の固定化費用の町負担分301万6千円です。この費用は東京電力へ損害賠償として求める予定です。

放射能物質検査費用38万1千円。他に、もみ殻堆肥、椎茸原木5品目の検査費用などです。

質　疑

市原時夫議員　商標登録は国際的な登録もすべきでは。

また、町の放射線測定に関する費用も東電に要求すべきでは。

企画財政担当主幹　当面国内のみです。

東電への費用補償は、前向きに検討します。

幸治孝明議員　飛灰処理の最終処分までの期間は。

生活環境担当主幹　28年3月までです。

今関澄男議員　可燃ゴミの削減対策は。

総務課長　草刈りをしたものの搬入自粛や、堆肥処分のリサイクルなどで取り組んでいます。

町のマスコットキャラクター　うめ丸くん

一般質問

幸治 孝明 議員

生徒数減少による瑞沢小学校の複式学級への移行・小学校統合の可能性は

町長職務代理者　重要な問題と認識

町政の課題を問う

出生率の低下に伴い学童児童の減少は全国的な問題である。瑞沢小学校においても例外ではなく1学年3名の年があるように聞く。

生徒数の減少に伴って考えられる複式学級移行の可能性とその中身はどうか。

教育長　小学校2年生以上の引き続く2つの学年を合わせ16人以下になった時に複式学級となります。27年度に2年生・3年生が複式学級になり29年度にも一つ複式学級が増える見込みです。

議員　複式学級では2つの学年に1人の先生であるから片方の学年は自習となるのか。

教育長　直接指導を受ける時間が少ないという欠点もある半面、指導を受けていない学年のグループ学習によるプラスもあります。複式学級は人の配置で解消することも可能です。多面的に検討し、よりよい方法を考えてまいります。

瑞沢小学校授業風景

中学校は講師の数が多いのでは

配置基準通りです

議員　睦沢中学校は教諭数に比べ講師の人数が多いのでは。

教育長　睦沢中学校の教職員の配置基準は、校長1名、教頭1名、教諭14名です。管理職を除く現状は、教諭のうち、育休代替講師2名、体育科講師1名体制です。そのほか、定数外で音楽・美術科の非常勤講師各1名が配置されております。

小学校の統合をどう考えるか

地域との結びつきを考えながら

議員　中央団地の通学は瑞沢小学校だが、かつて土睦小学校への通学希望があると聞いたが今はどうか。

教育長　現在はないと理解しています。

議員　小学校の統合についてどう考えるか。

先日、南房総市を視察した時の教育長の話で20名位が良いのではないかという話であった。

少人数学級のいい点は認めるが、もう少し生徒数が多い方がよいと考えるが。

統合には手続きを含め時間がかかるが、どうか。

町長職務代理者　瑞沢小学校の改築時にも特別委員会で検討されました。

学区の編成は地域との結びつき等を考えなければならない重要な問題と認識しています。今後極端な児童の減少が見込まれ十分検討します。

一般質問

市原 時夫 議員

安全・くらし・福祉で子育て支援を後期基本計画に

町長職務代理者　合併破綻を踏まえた方向で

今後5年間の町後期基本計画だが、合併の破綻、東日本大震災、増税・リストラ・福祉切り捨ての政治の中で住民のくらし破壊が進んでいる。

この認識を踏まえた計画にすべきだ。

「合併しないと、財政が破綻する」という論理は、当時、私が指摘した通り崩れた。自立の町づくりを明記すべきだ。

消費税10％への増税の動きやリストラから、住民のくらしを守ることを考えるべきだ。

行政と住民が作り上げてきた、学校給食自校方式など子育て支援の町の魅力をアピールし充実すべきだ。

住民参加のまちづくりを広げて、専門の町職員を配置すべきではないか。

町長職務代理者　国政の動きが不透明であり、増税がされるなら、財源は住民の暮らしに充てられるべきと考えます。

合併破綻を踏まえた方向で計画を考えています。

まちづくり委員会は、現在の体制で進めます。

議員　住宅リフォーム助成は定住促進、耐震化、地域経済、税収確保の点からも有効ではないか。

町長職務代理者　近隣の動向を見据え検討します。

大地震の被害予測を分析し対策を早急に

県内市町村相互支援体制も含めて充実します

議員　国や県の地震被害予測では、30年以内の大地震の被害予測を、死者1名、負傷者67名、建物全壊123棟と発表し、津波10メートルの場合の影響も予測している。対応は。

原発事故に伴う、食品の放射線測定器も購入したが、利用方法は。

子どもたちの健康診断もすべきだ。

町長職務代理者　県内市町村との相互支援体制の充実も含め対応します。

1園3校の給食食材は、購入した食品放射線測定器で検査を実施します。

子供たちの健康調査は考えていません。

原発ゼロの自然エネルギー活用の町に

総合的に検討

議員　東電の値上げや、再稼働の動きに怒りがわき上がっている。原発ゼロの立場で「自らの町の電力は自ら生み出す」意気込みで、自然エネルギー活用に踏み出すべきでは。

町長職務代理者　将来的には原発のない方向がベストですが、現時点での状況を総合的に考え検討します。

元気な子どもたち（学童クラブ）

後期高齢者医療広域連合への経費の軽減を

要望しています

議員　後期高齢者医療広域連合への町の共通経費負担の軽減を求めるべきでは。

町長職務代理者　均等割り10％の分は、長生郡内の町村長で、見直しを千葉県後期高齢者医療広域連合に要望しています。

一般質問

麻生 安夫 議員

大地震を想定した地区ごとの危険管理は

町長職務代理者　各区自主防災組織ごとに施策、訓練

防災計画は、県も被害想定を見直しているが、特に震度6強以上で津波高10m以上を想定しての被害規模や状況を、町は、どの程度見ているのか。

町長職務代理者　県防災会議で、海抜の低い川島・寺崎周辺では、一宮川・瑞沢川の津波の遡上が示されてます。

地震による堤防の決壊等も想定して地域住民の避難の必要性を感じております。

議員　地域によって被害状況が異なると思う。各地域別の危機管理アドバイスはないか。

町長職務代理者　各区の自主防災組織ごとに活動計画を立てて、防災意識の向上から危機管理意識を住民個々に持っていただくような、施策、避難訓練へと進めてまいります。

議員　震災時の避難場所は、川島・寺崎地区の住民はどこか。

町長職務代理者　今のままでは川島地区と寺崎地区の住民も不安があるので、早急に自主防災組織の活動を活発化させて、住民の安全・安心感を醸成するよう進めてまいります。

議員　川島地区の現在の防災備蓄倉庫は海抜が低い所にあるため、高い長者団地の町有地（公園）に移転し、併せて緊急避難場所にしては。久保地区の住民は、長生村内のまきの木苑を避難場所に借りては。

町長職務代理者　検討させていただきます。

総務課長　防災倉庫の移転の件は自主防災組織の会議の中で、久保地区のように隣接町村に避難の場合は、長生郡市広域体制の中、全体で取り組んで行きます。

消防団員の確保が課題

協議します

議員　消防団の団員確保が困難なことで、非常時の参集率が極端に低下している。町としてどう考えているか。

町長職務代理者　非常備消防団のPRと参集率の向上に、役場自衛消防隊の結成と消防団OBなど機能別消防団の設置に向けて協議を進めてまいります。

通学路の安全対策を

防犯ボランティアの強化

議員　県道茂原夷隅線の上市場市街地は道路幅員が狭く交通量が多いため、特に児童・生徒の登下校時は危険です。大事故が起きないうちに対策が取れないのか。

町長職務代理者　県が行う車道と歩道の整備に対し促進を要望し全面的な協力を行う所存です。

完成までの間は、通学路の迂回、遠距離通学バス、PTA、防犯ボランティア等の協力で安全を維持してまいります。

総務課長　大型車の通行制限も今後、千葉県公安委員会と協議し進めます。

危険な上市場の道路

一般質問

清野　彰 議員

ドア to ドア運行システムの早期実現を

町長職務代理者　検討委員会等の設立を検討

町内外への移動手段として、町巡回バスや社会福祉協議会が運営している交通システムがある。

しかし、これらには制約条件があり利用者が少ないことが現状だ。月曜日から土曜日まで町内をはじめ、近隣市町村へ気軽に移動してもらえる交通手段を多くの高齢者が希望している。

今後の交通手段のあり方をどのように考えているのか。

町長職務代理者　高齢者や、障害をお持ちの方の利便性を考慮し、ドアtoドア方式の導入、協議会やプロジェクトチームの設立等を含め検討してまいります。

一宮町の新にこにこサービス車

自然災害への対応を

マニュアル作成中

議員　自然災害は地域によって内容が異なる。

災害には、地震・津波・土砂災害・洪水がある。

地域ごとに細分化した特有の災害マップの作成や、町内及び長生郡市内を移動中に遭遇した時の緊急避難場所の明確化が必要と考えるが。その対策は。

町長職務代理者　現在、長生郡市広域災害時対応マニュアルを作成中です。

このマニュアルに広域での避難計画、避難場所、市町村間の相互支援、津波から土砂災害まで想定した計画の策定を進めています。

また、庁舎内にアマチュア無線局を設立して幅広い情報の把握に努めたいと考えております。

一般質問

荻野　新衛 議員

行革推進会議はどうなっている

町長職務代理者　本年度は早めに報告

今後、ますます厳しくなる時代状況の中で、行政改革は永遠のテーマだと思う。行政改革推進委員から23年度中の報告がなかった。成果は。

町長職務代理者　委員会を開催し結果を報告して必要な見直しを行うところですが、委員会を開催する時間がありませんでした。

本年度、早速会議を開催し、早めに報告します。

議員　町勢要覧などの中で、間違いやおかしいところがあるが、チェック体制はどうなっているか。

町長職務代理者　担当課でチェックし、決裁の段階でチェックしていますが、チェック漏れについては、大変申し訳なく、今後は二重、三重にチェックをします。

町勢要覧

一般質問

田中 憲一 議員

通学の安全確保・子供達を見守る「目」を

教育長　さらなる制度を模索

児童や生徒が通学時に遭う事件が毎日のように各地で報じられている。本町はどのような安全確保に努めているか。

教育長　交通安全教室の開催・ＰＴＡや地域の方々による交通指導・駐在さんによる街頭指導などを行っています。

また、不審者対策の訓練や、保護者には不審者等の情報をメール配信できる準備を行なっています。

防犯ボランティア、交通安全推進隊、ＰＴＡ、スクールガードの方々により活動を行なっていただいています。パトロールの車両も強化していきたい。

議員　本町での取り組みは評価できる。

しかし、子供達を見守る『目』は多ければ多いほど良いと考える。郵便局外務職員や町内業者、下校時にリンクする方々に見守り依頼をしては。

教育長　以前、期間限定で協力をしていただいた経緯があるので、正式にお願いできる制度を模索して行きます。

統合問題への取り組みが遅いのでは

検討を進めていきます

議員　小学校の統合問題だが、どこの地域でも、5年～10年の審議会を経て実施されるケースが大半である。

アンケートや地域住民の参加を求めて色々な意見を吸い上げていくべきだと思うが、組織の立ち上げは。

教育長　教育委員会協議会として調査・研究を開始し今後の対応策を、多くの方々の意見を求め進めて行きます。

議員　複式学級に直面している瑞沢小学校は、保護者や地域住民の計り知れない不安を考えたら、対応が遅いのではないか。

教育長　学級編成の基準が定められており現在35人学級が推進されています。

少人数学級による文科省の調査では学習面・生活指導面で素晴らしい成果が出ているとの報告もあるので、問題点なども考えながら検討を進めて行きます。

災害時、学校に備蓄は

空き教室等に備蓄品を配置します

議員　1園3校は広域避難場所に指定されているが、今後、備蓄をしていく考えはあるのか。

総務課長　小学校については空き教室を利用し、また、中学校と公民館には防災用倉庫を設置して備蓄品を配置していきます。

議員　学校での一泊訓練を取り入れたらいいのでは。

総務課長　学校単位で実地体験等をお願いしています。

議員　本町の給食は自校方式であるが、近隣市町村・県内と比べて、問題点はないか。

教育長　中学校を除くと、設備等は充実しています。

中学校の給食施設の老朽化が顕著であり、更新時期に来ていると考えます。

耐震補強も予定されているので、教育委員会協議会を設置して調査研究を開始しました。学校給食等検討委員会も設置して行きます。

議員　児童・生徒の減少や生産性・効率などあらゆる面から検討しては。センター方式も選択肢の1つとして検討しては。

教育長　ご要望として承ります。

備蓄倉庫

一般質問

田邉 明佳 議員

イノシシ・ハクビシン・アライグマから農家を守れ

町長職務代理者　対策を強化

現在イノシシ、ハクビシン、アライグマ等の繁殖による農家の被害が問題になっている。野生動物は本来保護され、狩猟免許を持たないと捕獲できないが、被害対策として罠猟師の育成はどうなっているのか。また、罠猟師は本町で何人活動しているのか。

町長職務代理者　猟友会に協力いただき罠を設置し、電気柵等で侵入防止に努めています。

活動人員は猟銃免許所有者12名と罠免許所有者2名です。免許取得助成も検討します。イノシシは駆除を10月と3月に行っています。

ハクビシン等の有害な小動物は特例で担当課の職員2名が捕獲従事者として登録しています。

議員　害獣駆除を行うための許可権限は県にあるが、本町は委譲されているのか。

イノシシは年2回の繁殖を行うこともあるというが、そういった生態も把握し、駆除しているのか。

総務課長　現在は委譲を受けていません。積極的にやっていきます。

生活環境担当主幹　イノシシは年1回もしくは2回の出産で平均4～5頭と聞いています。

町内農家にこそ対応を

議員　罠猟師だけでなく、鳥獣対策ハンドブック等も活用して町全体で対策を勉強していく必要もあるのでは。

生活環境担当主幹　検討します。

新しい方策を検討

議員　近年他町村から耕作者が入ってきている。これでは将来、耕作者が全員睦沢町民ではなくなるという水系も考えられる。

地元の耕作者がいなくなったら水系の維持管理は誰がやるのか。これまで費用と人手をかけてきた堰やため池の整備がこのままでは町外の人のためともなりかねない。どういった対策をとっているのか。

町長職務代理者　農業委員によるワンスリー運動や農地利用集積円滑化団体とも連携をとり町内農業者への斡旋を強化したいと思います。

議員　町農業の発展に役立つ仕組みはあるが、うまく機能していないのでは。農地法に規定する事以外の農政は町部局の専権事項だが、農業委員会にも町長からの諮問という形で活発に動いてもらってはどうか。

地域振興課長　町内の農業者に耕作していただくのが理想ですが、貸し手の意向もあります。しかし町内の耕作者に耕作していただけるようPRしていきたいと思います。

議員　貸し手の事情もあると言ったが、貸し手・借り手に双方メリットがある方策を考えていただきたい。

地域振興課長　検討します。

捕獲されたアライグマ

産業建設常任委員会が町生活排水施設などを調査

町議会産業建設常任委員会は、コミュニティプラント（5か所）とかずさ有機センターの現地調査を行いました。

コミュニティプラントについては、設備の老朽化が進んでいること、維持管理料が高額であるため見直しと対策をすること。

かずさ有機センターについては、機械設備の修繕が増加傾向のため保守点検の強化、完熟堆肥の製造では、製造工程の時間調整を十分行うことや安定した製造を調整することを指摘要望事項としてまとめ、町執行部へ要望書を提出しました。

現地調査（中央団地）

教育民生常任委員会調査報告

食育・学力向上をめざし南房総市の給食の実情及び教育の推進方法について調査を行いました。

調査結果

①「学力の向上」「南房総市への誇りと強い思いのかん養」「防災対応能力の育成」の3つの特色ある教育理念推進により、市長ならびに議会の理解と支援のもと事業が円滑に行われている。

②放課後学習教室、夏季講座、完全米飯給食など事業立案から実践まで教育長の強いリーダーシップと職員の行動力により、保護者はじめ地域住民に信頼感が生まれ、塾等官民協力の中で事業が実施されている。

③真に子供の健康を考えた日本古来の和食を増やし、パンやパスタのない、米、野菜、魚、ひじき、梅干し、鯨など地域との連携による地産地消を生かした完全米飯による食生活改善を指導している。

調査の意見

市の明確な教育理念と具体的な推進方法は、町の模範とすべき点が多く、今後の教育行政において完全米飯給食、夏季塾など大いに参考としていただきたい。

中学校の昼食風景（南房総市）

多古町議会広報特別委員会を視察・研修

大胆なレイアウト

7月6日に、議長と町議会編集委員・議会事務局長が、多古町議会を訪れ「議会だより」の編集内容を研修しました。

多古町議会議長と編集員、議会事務局長により説明をして頂きました。

特色は、紙面を大胆に使った見出しなどのレイアウト、毎号カラー刷りによる、見た目のわかりやすさを追求されているようです。

内容については、一般質問の時の写真を質問・答弁と共に掲載しています。

各議案の項目と説明・各議員の賛否状況を一覧表にしています。

また、本会議以外で議員の参加されている、各種会議も「かつどう日誌」として一覧表にして掲載しています。

カラーと見出しの大きさ工夫により、一目で内容が分かるように努力されていると思いました。

「睦沢町議会だより」のように、本会議の内容を基本的にすべて掲載するのとは違い、議案の質疑・答弁は省略されています。

「睦沢町議会だより」は原稿から、レイアウト完成まで、編集委員の自主編集で行っており、その違いはあるようです。

多古町議会を視察研修

千葉県市町村議会広報研究会に参加

ありのまま、分かりやすく、住民とともに

7月13日に千葉県市町村議会広報研究会に、町「議会だより」編集委員会も参加しました。

広報コンサルタントの深沢徹氏が、自らの経験も踏まえて、広報作成のポイントを話され、県内の4市町の広報を具体的に診断しました。

編集作業のヒントがたくさんあり、大変参考になりました。

町の歴史・文化財紹介

睦沢町指定無形民俗文化財「大上五囃子」

睦沢町には21件の町指定文化財があり、うち3件が無形民俗文化財。大上五囃子は、そのひとつです。

かつて「屋台」「昇殿」「鎌倉」「神田丸」「七丁目」「成田」「かけ違い」「馬鹿囃子」の8曲あったといいますが、そのうちの5曲が伝わっていることから、「大上五囃子」と呼ばれます。

今でも「かけ違い」「馬鹿囃子」「七丁目」「屋台」などが地区の産土様である熊野神社の祭礼で上演されています。

（写真１）昨年の大上熊野神社での「大上五囃子」奉納

大上五囃子はいつごろどのように始まったかなどの詳細はわかっていませんが、長い歴史の中で生まれ、はぐくまれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な文化財です。これを次世代に残すために、関係者による努力が続けられています。

大上の8地区は表講中、上講中、碇講中の3つに分かれ、それぞれ囃子を伝えています。かつては、今のように3つの講中が同じ囃子を行うわけではありませんでした。

表講中と上講中には囃子がありましたが碇講中には囃子がなかったので、碇講中の人たちは剣舞や踊りや芝居などを上演しました。表講中と上講中の囃子の先生は別人だったので、同じ曲でも異なるたたき方が伝承されていました。

現在、3講中は輪番で年番となり、年番の講中は夜9時まで熊野神社で囃子を奉納し（写真1）、年番以外の講中は区民センターで囃子を上演しています。子供会の囃子は、今は区民センターで上演していますが、15年前ごろまでは特設舞台で上演していました。

大上地区の小中学生は昔から囃子を教わり、中学生も参加しています。大上五囃子は現在まで伝承されている睦沢町の数少ない囃子であり地域的特色があって歴史上芸術上価値が高いとして、平成17年10月6日に睦沢町指定無形民俗文化財に指定されました。

（写真2）は大上上講中屋台で、大正時代頃に地元の大工さんたちによって作られました。彫刻は、4代目波の伊八こと武志伊八郎信明の弟子の押田信一の作です。1935（昭和10）年頃までは祭礼で毎年組み立てられ囃子が上演されていましたが、戦時中は人手不足から組み立てが中止されていました。

1948（昭和23）年に約10年ぶりに組み立てられたといい、この写真はこのときに撮影されたものかと思われます。

大上五囃子は、9月の第2日曜日に開催される熊野神社の祭礼以外に「伝統芸能発表会」などでも上演されています。

（写真２）昭和23年の大上上講中屋台

睦沢町立歴史民俗資料館
学芸員　久野一郎

議会を傍聴しませんか

第3回（9月）定例会は
9月11日（火）から
開催の予定です。

詳しくは、
議会事務局　44-2510へ
お問い合せください。

編集後記

早いもので議員一年生になって6か月が過ぎようとしています。私は、議会だより編集委員を担当することになり今回で3回目の作業となりました。

始めた頃は、議場で行われた討議資料を何回も読み直し、編集委員会がスムースに運営できるように頑張ってきました。

文章を短くまとめる作業は想像がつかないほど大変さがよく分かりました。

特に、総括質疑や一般質問の文面を簡潔明瞭にまとめる作業には苦労しました。

多くの方に読んでもらえる文章作りは永遠のテーマと言っても過言ではないでしょうか。

今後は、他の市町村の議会だよりを参考にすることや町民の意見を伺いながら一層充実した議会だよりにしていきたいと思います。

A・S